

プログラム番号	06040
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	大阪外国語大学 言語社会研究科		
②学長名	是永 駿		
③所在地	〒562-8558箕面市粟生間谷東8-1-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	学生部国際課総務部門・係長	
	担当者氏名	長野 義治	e-mailアドレス nagano@osaka-gaidai.ac.jp
	電話・FAX番号	072-730-5075・072-730-5074	
⑤ホームページ URL	<a href="http://www.osaka-gaidai.ac.jp">www.osaka-gaidai.ac.jp</a>		
⑥大学院在学留学生数	141人(うち、国費留学生 58人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	日本語・日本文化専修コース特別プログラム
②プログラムの形態	博士前期課程+博士後期課程(2+3年間)
③実施研究科・専攻	言語社会 研究科 地域言語社会 専攻
	(所在地) 〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1
④連携大学・研究科・専攻名	無
⑤受入れ学生数	博士前期課程7人(うち研究留学生優先配置人数:5人) 博士後期課程7人(うち研究留学生優先配置人数:4人) (うち日本人学生数:0人)
⑥担当教員数	合計 13人(うち専任:11人、兼任:2人、非常勤:0人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 大学院言語社会研究科・研究科長
	研究科長名 三原 健一

### 【3. プログラムの内容】

#### 1. 目的

本プログラムは日本語・日本文化関連分野を研究し、修士号または博士号を取得しようとする外国人留学生に大学院の教育課程を提供するものである。

#### 2. 課程修了・学位授与の要件

(博士前期課程)

課程修了・学位の授与には、以下の要件を満たすことが必要である。

- 1) 博士前期課程に2年以上在学し、30単位以上を修得すること。
- 2) 必要な研究指導プログラムを受けること。
- 3) 修士論文を提出し、最終審査に合格すること。

(博士後期課程)

課程修了・学位の授与には、以下の要件を満たすことが必要である。

- 1) 博士後期課程に3年以上在学し、8単位以上を修得すること。
- 2) 必要な研究指導プログラムを受けること。
- 3) 博士論文を提出し、最終審査に合格すること。

#### 3. 授与学位

修士（日本語・日本文化）

博士（日本語・日本文化）

#### 4. 提供予定授業科目（全科目2単位）

(博士前期課程)

<総論科目\*>

日本語学研究序説

日本文化学研究序説

日本語教育学研究序説

<研究科目>

日本語学研究Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ/Ⅴ

対照言語学研究A/B

比較思想研究A/B

比較文学研究A/B

比較民俗研究A/B

比較社会研究A/B

比較経済研究A/B

日本歴史研究A/B

日本語教育学研究Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ

<演習科目>

日本言語文化研究A/B

日本社会文化研究A/B

日本歴史文化研究A/B

日本語研究指導Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ\*\*

日本文化研究指導Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ\*\*

<登録言語>

日本語演習Ⅰ/Ⅱ（必修）

\* 総論科目（序説）は、2科目以上の受講を必修とします。

\*\* 論文指導を「日本語研究指導」、「日本文化研究指導」という授業で行います。この授業は対一の個別指導を基本とします。

(博士後期課程)

日本語・日本文化特別研究ⅠA/ⅠB

日本語・日本文化特別研究ⅣA/ⅣB

日本語・日本文化特別研究ⅡA/ⅡB

日本語・日本文化特別研究ⅤA/ⅤB

日本語・日本文化特別研究ⅢA/ⅢB

日本語・日本文化特別研究ⅥA/ⅥB

5. 使用言語

日本語と英語の併用

6. その他

- 1) 本研究科においては学生の第1言語による授業科目も開設されており、履修が可能。
- 2) 文献読解力の向上のため、指導教員が必要と判断した場合は本学日本語日本文化教育センター開設科目の聴講が可能。

7. 特記事項

本学と大阪大学は平成19年10月に統合を予定しており、その際には本研究科は、大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻として位置づけられることになっている。